

卵殻膜タンパク質可溶化物及びその製造方法、並びに、該卵殻膜タンパク質可溶化物を含有する組成物、毛髪化粧品用組成物及び該化粧品用組成物を用いた毛髪処理方法

特許の概要

- ◆ 化粧品や健康食品の原料として最近注目されている卵の薄皮「卵殻膜」を水溶化し、利用しやすくする技術です。
- ◆ アルカリ条件下で卵殻膜懸濁液を急速加熱することにより、従来技術よりも分子サイズが高い卵殻膜可溶化物を得ることができます。
- ◆ また、ケラチンとの親和性が強い「システイン」を多く含みます。



このような問題を解決できます

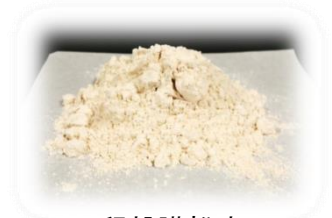
【卵殻膜を可溶化させる従来技術】

- ◆ アルカリ条件下長時間加熱する → システインが破壊される、低分子化しすぎるなどの問題点がありました。
- ◆ 酵素を用いて温和な条件で加水分解する → 歩留まりが低く、高コストでした。



【新製法】

- ◆ アルカリ化急速短期間加熱することにより、卵殻膜中のシステインの破壊、過度の低分子化、副生成物の生成が抑えられた高品質の卵殻膜可溶化物を製造することができます。
- ◆ 歩留まりは従来のアルカリ処理と同等以上です。



卵殻膜粉末



可溶化した卵殻膜

このような用途に使えます

- ◆ 卵殻膜に含まれるタンパク質成分やペプチド成分には、線維芽細胞増殖作用、保湿作用、活性酵素除去作用、細胞賦活作用等があることが知られており、化粧品や健康食品の素材としての用途が期待されます。
- ◆ 新製法による卵殻膜はシステインの含量が高く、毛髪の主成分であるケラチンのアミノ酸組成と似ています。ケラチンとの親和性が高いため、爪、まつげ、まゆげ、毛髪等に対してより高い保護効果や補修効果が期待できます。

基本情報

出願日	公開または登録番号	本県以外の権利共有者
平成28年7月29日	特許第6288686号	株式会社グリーンテクノ21、 株式会社ブルーム

お問い合わせは…

佐賀県工業技術センター 研究企画課

〒849-0932

佐賀県佐賀市鍋島町八戸溝114

TEL 0952-30-9398

FAX 0952-32-6300

E-mail skougi@saga-itc.jp